

要 望 書

地下鉄 8 号線建設促進並びに誘致期成同盟会

地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会

会長	野田市市長	鈴木有
	野田市議会議長	平井正一
副会長	越谷市長	高橋努
	越谷市議会議長	伊藤治
副会長	松伏町長	鈴木勝
	松伏町議会議長	増田等
副会長	坂東市長	木村敏文
	坂東市議会議長	張替秀吉
	草加市長	浅井昌志
	草加市議会議長	西沢可祝
	八潮市長	大山忍
	八潮市議会議長	岡部一正
	吉川市長	中原恵人
	吉川市議会議長	加藤克明
	下妻市長	菊池博
	下妻市議会議長	田中昭一
	常総市長	神達岳志
	常総市議会議長	倉持守
	筑西市長	須藤茂
	筑西市議会議長	仁平正巳
	八千代町長	野村勇
	八千代町議会議長	中山勝三

東京8号線の早期建設並びに延伸誘致に係る要望書

- 1 交通政策審議会答申第198号に位置付けられた東京8号線（押上～野田市）における八潮～野田市間の先行整備と茨城県西南部地域へのさらなる延伸誘致に向けて、令和3年度から実施予定の検討調査（八潮～野田市間）及び研究部会等の取組に対し、貴県の積極的な参画及び協力を要望いたします。

埼玉県東部地域、千葉県北西部地域、茨城県西南部地域は、東京に近接しているにも関わらず、都内への通勤、通学等に長時間を要していることから、東京へ直結する鉄道の整備は住民の長年の悲願となっております。

このことから、当地域では、地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会（以下、同盟会）を設立し、官民一体となり、東京へ直結する鉄道の建設・誘致に向けて、様々な取組を行っております。

こうした取組が結実し、平成28年4月に取りまとめられた交通政策審議会答申第198号において、東京8号線の押上～野田市間が「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」に位置付けられましたのも、貴県の熱心なご協力、ご支援の賜と改めて御礼を申し上げます。

東京8号線の八潮～野田市間及び茨城県西南部地域への延伸整備により、都心への所要時間の短縮をはじめ、速達性、利便性が向上し、まちの魅力創出や経済活動の活性化等が図られます。

特に、頻発する大規模災害等への対応が喫緊の課題となる中、並行する他の鉄道路線の代替機能を果たすとともに、JR武蔵野線、東武鉄道野田線といった環状路線と結節することで鉄道ネットワークの多重化による代替経路の確保が図られ、帰宅困難者対策をはじめ、防災面においても非常に大きな役割を果たします。

また、環境面においても、移動手段が自家用車から鉄道へ転換することにより、CO₂排出量の削減はもとより渋滞による経済的損失の軽減に寄与することから、道路混雑の緩和とともに低炭素社会の実現が図られます。

答申第198号では、都心部とのアクセス利便性の向上が期待される一方、事業性に課題があると示されており、同盟会ではこの課題に対する調査、研究を実施するため、平成29年度に研究部会を立ち上げました。

貴県にもオブザーバーとしてご参画をいただいておりますことに深く感謝を申し上げます。

この同盟会の活動と並行して、各県単位でも積極的な取組を行っており、貴県及び埼玉県の構成市町では、それぞれ県と連携した勉強会を開催しております。

また、千葉県野田市では、平成25・26年度に同盟会で実施した「高速鉄道東京8号線（八潮～野田市間）事業化検討調査」

の調査結果を踏まえ、29年度から学識経験者や有識者、民間代表、国土交通省、鉄道事業者及び市を構成メンバーとする委員会を設置し、鉄道整備と連携したまちづくり方針等を検討する深度化調査を実施していましたが、令和2年12月に調査の取りまとめとして報告書を作成いたしました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により、社会経済環境等は大幅に変化しており、今後、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大が人口や交通流動に及ぼす影響等についても調査、分析を行う必要があると考えております。

以上の状況の中、同盟会では、答申に示された課題の整理に向けた取組を一層充実、加速させるため、令和3年度から、まちづくりを主眼に事業採算性、費用便益比の算定等を事業内容とする検討調査（八潮～野田市間）を実施する準備を進めております。

何卒、当地域の実情をご賢察いただき、貴県の積極的な参画及び協力をいただきますよう、特段のご配慮のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和3年1月28日

茨城県知事

大井川 和 彦 様